

## 第18回 湘南マスタース水泳大会(2017 湘南マスタース) 開催要項

主催 平塚水泳協会

後援 平塚市・平塚市教育委員会・平塚市体育協会（申請中）

日時 平成29年11月5日（日） 開場 8：40

競技開始 9：30

終了 17：00

会場 平塚総合体育館温水プール（公認 25m×8レーン）

平塚市大原1-1

電話 0463-35-2255

交通 JR東海道線平塚駅北口下車 バス7番線乗車「共済病院前・総合公園西」徒歩3分

詳細 総合公園ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/soko/map.htm>

### 1. 参加資格

①自己の健康に責任の持てる男女で、定期的（週1回以上）に競泳の練習をしている者。

小学生・中学生は保護者の同意の下に参加する。

高校生以下はチーム（学校及びスイミング等）からの参加のみとする。

②年齢は暦年齢とする(平成29年12月31日現在の満年齢)。高校生以下は、学年とする

③対象地域：神奈川県平塚市・茅ヶ崎市・藤沢市・寒川町・鎌倉市・逗子市・葉山町・横須賀市・三浦市・大磯町・二宮町・小田原市・真鶴町・湯河原町・南足柄市・伊勢原市・秦野市・厚木市・海老名市・座間市

### 2. 種目

種目(各男女)	距離 m(15種目)
自由形	25m・50m・100m
背泳ぎ	25m・50m・100m
平泳ぎ	25m・50m・100m
バタフライ	25m・50m・100m
個人メドレー	100m
フリーリレー	4×50m
メドレーリレー	4×50m

### 3. 競技順序

1.	100m自由形	6.	4×50mメドレーリレー	11.	50m自由形
2.	100m背泳ぎ	7.	25m背泳ぎ	12.	50m背泳ぎ
3.	100m平泳ぎ	8.	25m自由形	13.	50m平泳ぎ
4.	100mバタフライ	9.	25m平泳ぎ	14.	50mバタフライ
5.	100m個人メドレー	10.	25mバタフライ	15.	4×50mフリーリレー

#### 4. 出場制限

- ① 個人種目は、一人4種目までエントリーできる。ただしリレーは除く。
- ② リレー種目は、1チームから何チームでも参加できる。ただし、同じ年齢区分に複数チーム参加する場合はA・Bとチーム名を記入する。
- ③ リレー種目出場者は、必ず個人種目にエントリーした者で、そのエントリーしたチームからの出場に限る。また、同一リレー種目に2つ以上の年齢区分から出場できない。
- ④ リレー競技に出場する選手は、必ず飛び込みが出来る選手とすること（第一泳者を除く）

#### 5. 年齢区分

##### ①個人種目

グループ	小低	小高	中学	高校	18	25	30(5才毎) …	80以上
年齢	1年	4年	1年	1年	18	25	…	80
	～	～	～	～	～	～	～	～
	3年	6年	3年	3年	24	29	…	84

##### ②リレー種目

グループ	小学生	中学生	高校生	119以下	120	160	200	240以上
年齢	小学生	中学生	高校生	～	120	160	200	240
	～	～	～	～	～	～	～	～
	119	159	199	239	279			

#### 6. 競技方法

- ① スタートについては、（一社）日本マスターズ水泳協会競泳競技規則を適用する。
- ② すべて男女別、種目別、年齢区分別のタイム決勝とする。
- ③ 25m背泳ぎは、手動計時とする。
- ④ 競技成立後、横退水を原則とする。

#### 7. 表彰

- ① 出場選手全員に参加賞・記録証を授与します。
- ② 年齢別区分・個人種目・リレー種目の男女別・年齢区分別の優勝者に賞状を授与します。

#### 8. 健康管理

- (1) 参加者の健康管理は本人の責任とし、各自で十分留意すること
- (2) 各チームは所属する参加者について次のことを確かめること
  - a) 医師の健康診断または本人の自己申告に基づいて健康に異常がないこと
  - b) 競技会当日より前1ヶ月間、週1回以上の水泳練習を行っていること
  - c) 会場における事故等については、すべて参加者側において処置すること

#### 9. 申込方法

平塚水泳協会ホームページ (<http://swimhiratsuka.web.fc2.com/>) から大会規定申込用紙（エクセルファイル）をダウンロードしてご記入いただき、メール送信 ([swimhiratsuka@yahoo.co.jp](mailto:swimhiratsuka@yahoo.co.jp)) にてファイルを添付してお申込みください。

- ① 申込後のエントリー変更、追加、キャンセル等につきましては、受付をいたしませんのでご注

意ください。(メール送信は1回に限ります。)

- ② 選手名、生年月日、性別、エントリータイム、種目、距離のデータを必ず記入ください。
- ③ メール本文に「チーム名称」「チーム略称(全角6文字以内)」「連絡先責任者名」「連絡先電話番号」を記載してください。
- ④ 当方からエントリーシートの「受理確認」返信メールを発信します
- ⑤ 「開封済みメッセージの要求」の確認オプションを付けて送信を推奨します。

(2) 参加費	個人種目(1種目)	800円
	リレー(1種目)	1,600円

参加費の支払い：下記のゆうちょ銀行口座へ振り込んで下さい。

ゆうちょ銀行 加入者名義 平塚水泳協会 口座番号 00290-7-50061
--

※エントリー後の返金は一切できません。

領収書は郵便振込票の控えとします。

- (3) 申込締め切り 平成29年 9月28日(木) 24:00 まで必着厳守。  
定員 800名 定員(先着順)に達した段階で締め切ります。

## 10. その他

### (1) 個人情報の取り扱いについて

申込書等に記載された個人情報につきましては、競技会のプログラムやランキングの作成を含み競技会運営を円滑に行うために必要なものだけに使用し、その他の目的には使用、提供はいたしません。また、不要になったチームおよび個人情報書類は責任をもって破棄いたします。

### (2) 競技役員について

大会運営にご協力をお願いします。参加選手数が5名以上のチームは、競技役員のご協力をお願いします。協力ができる方は、競技役員氏名をメール本文に記入ください。

### (3) 選手控え場所については、当日抽選で行います。

(4) 大会当日、悪天候や災害など、予測できない状況にてやむを得ず大会が中止になった場合は、「参加賞」「プログラム」は後日各チームに送付しますが、申込金の返却は致しません。

(5) 大会結果については、平塚水泳協会のホームページに掲載いたします。

(6) 大会会場での障害等につきましては応急手当を致しますが、それ以降につきましては参加者自身の責任で処理をお願いします。

(7) ビデオ・写真撮影許可については、当協会の指定申請用紙(ホームページに掲載する様式)に、責任者が捺印し、大会当日その申請用紙を受付に提出した者として、(当日は、許可証の預かり金として1,000円をご用意ください。許可証返却時にお返しします。)

(8) メインプールの水深は2mです。2レーンごとに水深台があります。

(9) 水着の着用基準については、一般社団法人日本マスターズ水泳協会の取り扱いを適用する。

(10) プログラムは有償販売致します。(販売価格 1部 500円)

## 1 1 備 考

### ■ (一社) 日本マスタース水泳協会競技規則 (一部抜粋)

#### (1) スタートについて (背泳ぎを除く)

- a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台、台下 (プールデッキ)、水中 (プール壁) の何れからでもできる。
- b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台 (台下) に上がった競技者は、スタート台 (プールデッキ) 前方に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。
- c. 水中からスタートする選手は、審判長の長いホイッスルによって水に入り、直ちにスタート用グリップを片手または両手で持ち両足を壁につける。

#### (2) 背泳ぎについて (MSW6)

- a. 競技中は、泳者の体の一部が常に水面上に出ていなければならない。折返しの間、およびスタート後、折返し後の壁から 1.5 m 以内の距離では、身体は完全に水没してもよいが、壁から 1.5 m の地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。
- b. 折返しの動作中は、肩が胸の位置に対して垂直以上に裏返しになってもよく、その後は連続動作として速やかに行う片腕のかきあるいは同時の両腕のかきを折返しの初期動作として使用することができる。壁に手でタッチをして折返す場合は、壁に手がついた後に折返しの動作が開始されるので、壁に身体の一部が触れるまで仰向けの姿勢を維持しなければならない。

#### (3) 平泳ぎについて

- a. スタートおよび折返し後の一かき目は、完全に脚のところまで行うことができ、この間、競技者は水没状態であってもよい。最初の一かきをしている間に、次の平泳ぎの足のけりにつながる一回のバタフライキックは許される。
- b. 折返しおよびゴールタッチは、両手が同時にかつ離れた状態で行わなければならない。タッチは水面の上下どちらでもよい。折返しおよびゴールタッチ直前は足のけりにつながらない腕のかきだけになってもよい。

#### (4) バタフライについて

- a. 全ての足の上下動作は同時に行わなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。
- b. 折返しおよびゴールタッチは、水面の上もしくは下で、両手が同時に、かつ離れた状態で行わなければならない。